

芦屋室内合奏団

第 7 回

定期演奏会



1971.11.28 (日)

PM.6:30

於：夙川公民館

入場無料

プログラム



I コンチェルトグロツソ 作品 6の12

ヘンデル

ラルゴ

アレグロ

アリア[ラルゲット・エ・ピアノ]

アレグロ

II 合奏協奏曲 作品 3の12

ヴィヴァルディ

アレグロ

ラルゴ

アレグロ

 休憩 (15分) 

III 弦楽セレナード 作品 22

ドヴォルザーク

モデラート

テンポ・ディ・ヴァルス

スケルツォ、ヴィヴァーチェ

ラルゲット

フィナーレ、アレグロ・ヴィヴァーチェ

指揮 奥田伸悟

芦屋室内合奏団

ごあいさつ

学生時代にオケを楽しんだ者が、卒業後もアンサンブルの味が忘れられず、忙しい勤務の寸暇に同好自然に集まって練習をしているのが芦屋室内合奏団です。

発足以来7年、初めは数人の遊びでしたが、まもなく10数名のメンバーとなり、団員の転勤やら結婚等で、異動がありましたが、ともかく今日まで続いてまいりました。今後も続けてゆくつもりです。

こむずかしいこと一切抜きで、自由にのびのびとバロックから近代音楽まで、クラシックの生みだすハーモニーを楽しんでいます。

今回第7回目の演奏会を催します。純粹に音楽を楽しむ私どもにとって、演奏会は練習の励みとなり仕上げともなります。もとより素人の技で練習も不十分でお聞きづらい点もあるかと存じますが、一夕御来場下さいまして、御激励を賜わりますようお願い申し上げます。

1971年11月

芦屋室内合奏団
橋本宗夫

Our Musical Message

When we first learned that we were coming to Japan, we immediately began looking forward to hearing its good music. We had heard about the many excellent musical groups in Japan as well as the fine violin teaching in the schools.

Little did we realize that we would have the opportunity to play regularly with the fine amateur group sponsored by Mr. Muneo Hashimoto.

At our rehearsals in his home, we have observed that the musicians work just as hard for successful and satisfying performance as the professional and business men do in their work.

They show that they are delicate players eager to demonstrate excellence in performance of dynamics, phrasing, and sensitivity.

Even though we speak little Japanese, we have appreciated the acceptance, the warmth and fellowship, extended to us by this musical group.

Longfellow, the American poet was so right when he wrote the lines, "Music is the universal language of all mankind."

Mr. Matthew H. Shoemaker.

Mrs. Ruth D. Shoemaker.

客演指揮者

奥田伸悟

作曲、指揮を中元清純氏に師事

現在、企画・制作ミュージック・セリエルに所属

神戸大学交響楽団音楽監督



芦屋室内合奏団メンバー

Vn. 橋 本 宗 夫
 ○ 鳥 丸 安 雄
 芝 田 英 夫
 丹 羽 順 子
 藤 本 恭 子
 神 田 恭 靖 子
 武 藤 達 子
 鈴 木 由美子
 片 山 公 恵
 億 川 ひな子
 加茂野 真 理
 谷 村 邦 夫
 福 永 精 一
 山 内 祝 子

Vla. Matthew H. Shoemaker
 ○ 富 田 良 吉
 大 沢 康 介
 青 柳 良

V.C. ○ 中 島 良 能
 石 井 直 博
 鳥 丸 直 子
 楠 田 敏 二

D.B. ○ 森 俊 男

○印はパート・リーダー

今までの演奏曲目

第1回 1966年 3月

コレリ	クリスマス協奏曲
ヴィヴァルディ	四季より春・夏
バッハ	ブランデンブルグ協奏曲 No.5
モーツァルト	ディヴェルティメント K 136

第2回 1967年 1月

バッハ	ヴァイオリン協奏曲 No.2
ヴィヴァルディ	四季より秋
レスピーギ	リュートのための 古代舞曲とアリア 第3組曲
バーバー	弦楽の為のアダージョ

第3回 1967年 7月

ヴィヴァルディ	合奏協奏曲 No.11
バッハ	ピアノ協奏曲 No.1
チャイコフスキー	弦楽の為のセレナード

第4回 1968年 2月

コレリ	サラバンド・ジグ・バディヌリ
バッハ	オーボエとヴァイオリンの為の協奏曲
モーツァルト	オーボエ四重奏 K 370
ブリテン	シンプル・シンフォニー

第5回 1968年 11月

ヴィヴァルディ	四季より冬
ボッケリーニ	チェロ協奏曲 変ロ長調
モーツァルト	ディヴェルティメント K 138

第6回 1969年 9月

パーセル	組曲アブデラザール
パーセル	トランペットと弦楽の為のソナタ
テレマン	3つのヴァイオリン、弦楽と 通奏低音の為の協奏曲
テレマン	ブロックフレーテと 弦楽合奏の為の組曲
テレマン	弦楽と通奏低音の為の序曲

会 場 案 内 図

